

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 31年 4月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No.18	出来る事は自分でして頂くよう心掛けているが、つい手が出て介助を行ってしまうことがある。入居者さんも介助してもらおうことが当たり前のようにになっている場面がある。(配茶や食器の片付け等)	①一人一人の能力をしっかり把握し、スタッフ間で共有する。 ②入居者さん一人一人に役割を持って頂き、一緒に生活をしている一員であることを実感して頂く。	①一人一人の出来ること、生活の中から見出す。 ②一人一人に役割を持って頂く。③スタッフは、すぐに手伝うのではなく、まずは見守り、次に声を掛け一緒に進む姿勢で関わる。	12ヶ月
2	No.25	集団的な活動は毎日行っているが、余暇時間の活動が十分ではない。	①一人一人の生活時間を把握し、思い思いの時間を過ごして頂く。 ②入居者さんの趣味や興味のある活動に取り入れ、生活に意欲を持って頂く。	①入居者さんの趣味や興味のある物を聞いたり、生活の中から見出す。 ②利用者さん同士のコミュニケーションの場とする。	12ヶ月
3	No.26	加齢や運動不足による体力の低下が見られてきている。歩行距離や椅子座位時の姿勢の崩れが目立つようになってきた。	①1人1人の耐久性に合わせた体力作りを行う。	①毎日の屋外散歩でその利用者様に合った距離を歩いて頂く。②移乗時は足に力を入れて立ってもらったり、立位保持、バランス訓練を取り入れていく。③毎日のレクリエーションで体操を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。